

西海岸鉄道の建設は、今から二十五年も前から関係方面に陳情を重ねて来ましたが、建設予定線に入つたのは昭和二十八年で、これです。

炭も年間一万吨も節約でき、積雪が少く、こう配も半分以下のため、貨物輸送量は約二倍ということになります。

に力を得て調査線編入運動を強力に行つた結果、本年四月、全国の建設予定線百數十線のうちから十六線が岩内から岩内線国富駅を通る

西海岸鉄道は、計画によれば黒松内駅より湯別、歌

今まで交通に恵まれないため、無形の損失をうけていたこの地方は、この鉄道の建設によつて、産業、経

このたび九州地方をおますが、本町でもつぎの要
そつた大雨は、各地に大 救援運動の実施要領
きな被害を与えたことは 領で救援運動を行うことに
新聞、ラデオ等で御承知 になりました。昨年の凶凶凶
作に全国からのべられた救 一、義捐金を募集
です。金額はいくらでも結構
です。

九州の水害地に愛の手を

のことと思います。

この大きな災害をうけた方々に対し、全国的な救援運動が行われており

援の手は皆さんまだ記憶に新しいことです。町民の皆さんの御協力を切に願います。

一、期日 九月二十日まで

一、届先 役場又は支所

毎月1日発行
発行所
寿都町役場

世帯数	2,116戸
人口	10,278人
転入	132人
転出	247人
出生	12人
死亡	7人
前月分比較	
戸数	11戸増
人口	115人減
(出稼による)	

工費一千万円で着工

寿都小学校第二期工事

寿都小学校の改築第一期工事は、昨年十月から工費一千二百四十万円で、俱知安町林建設が請負つて施工されておりましたが近くこの工事が完了することになりました。

選挙人名簿登録の調査

選挙人名簿は、毎年九月十五日現在で調査して作製 ² されますが、本年も皆さん町村に行っている人は登きましました。	住所のある人 出稼など一時的に他市	本年も台風の時期がやつて
の家に職員が伺い選挙権を録されます。		
北海道では、毎日平均、		

海難を防ごう

登録されない人
1 昭和十二年十二月二十
一日以後に生れた人
2 昭和十二年十二月二十
一日以前に生れた人で本
年六月十五日以後に本町
に來た人
3 他市町村に修学のため
しう。

三隻以上の事故があり、平
均一人が死亡しています。
出漁前に何よりも氣象予報
に注意し、漁船の設備等に
ついては十分たしかめ、間
違ひのおこらぬようにしま
しょう。

としよりの日

「みんなで作ろう老齡年金」

これは「ことしの一と十一りの日」のスタートガンです。十五日から二十一日までを「としよりの日の福祉週間」として、敬老の催しが多い日に行われます。としよりを邪ま者扱いにしたり、冷たい目でみる人もあるようです。が、私たちがこうして無事に過すのも、としよりの方々のおかげといえます。どんなときでも、としよりをいたわることを忘れないようにしましょう。

固定資産税
第3期の納期は 9月30日

九月のこよみ

一日	二百十日
六日	鳥古丹、能津登祭
八日	十五夜
十日	湯別祭り
十一日	二十二十日
十三日	司法保護記念日
十五日	としよりの日
二十日	彼岸入り
二十三日	秋分の日
十月一日	新聞週間

地域別組合が欲しい

// 納税懇談会 //

全町納税貯蓄懇談会が八月二十五日午後一時から役場会議室で開かれ、「今までの納税貯蓄組合を育成指導をしてほしい」「今後の納税貯蓄組合は、できるだけ地区別によるよう指導してほしい」などと活発な意見がかわされ、有意義でした。

会議には後志支庁税務課長、寿都税務署長、支庁税務出張所長、町助役ほか関係職員、町内の納税貯蓄組合長、各組合代表者、婦人代表など約三十名が集り、まずテーブルコーダーで余市町で開かれた懇談会のもようを聞いた後懇談に入りました。

1 関係機関が積極的な指導をしてほしい。
2 事務の取扱について国地方とも十分連絡の上行ってもらいたい。
3 納期内完納を重点とせず年度内完納となるよう長目で見守ってほしい。
などの意見が出され、各組合現在の経営状態発表では、
1 一組を四班に分け一班四五人位で輪番に集合し、組合長に届けている。

初め月掛金額を定めたところ思はない滞納があつて掛金の増額に苦勞したが、今では相当の成績でほとんど完納している。(歌棄)

2 歌棄と同様に三地区に分け五日掛けとして輪番で集金している。初めは資金の調達や手数で問題があつたが、日を重ねる毎に理解を深めて現在は順調である。(磯谷)

3 昨年の凶作で納入に困難だと思つていたら予想以上の成績であつた。(湯別)

4 去年から再三関係者が来てすゝめたが、集合方法が出荷代金からの天引するといふ方法であつたので設立できなかった。漁業組合を主体とし、各地区毎に設立し、集金方法も五日、十日掛けとするようにしたらよいと思う。(磯谷)

5 天下り式の組合では持続性がないから、納得のゆゑ税金であり、かならず納入しなければならぬものだという指導を以て欲しい。(寿都)

6 組合に入る者多額者の分も支払つていゝのでないかと誤解している人もいゝからよく指導してほしい。(湯別)

「勇ましい団員の活動」 三地区の消防演習終る

本町各消防団の消防演習の威力には参列の人々や八月十七日の磯谷消防町民に感銘を与え、成績は団の演習から始まり、二十日良好でした。なお寿都消防六日寿都、二十九日樽岸の団の演習の際、さきに消防各団が引きつづいて行い、施設費として一万円を寄附した。各団とも、日頃の訓練された大磯町高津広吉さん、殊に新型小型動力ポンプを、町長から感謝状が贈呈されました。



(写真は消防演習)

現在は五組合

本町納税貯蓄組合

納税懇談会でも、各組合、納税貯蓄組合が活躍して長から、本町に作つたかひます。
○寿都理容美容師納税貯蓄組合
○組合長 刈屋 駒蔵
○組合員 一〇名
○湯別農振納税貯蓄組合
○組合長 成田政吉
○組合員 二名
○歌棄商工納税貯蓄組合
○組合長 名畑寅蔵
○組合員 二名
○磯谷商工納税貯蓄組合
○組合長 高山清一
○組合員 一四名
○寿都商工納税貯蓄組合
○組合長 井上武保

との意見があり、税務関係して十日、五日掛けという者からの意見を参考にし、ぐいに組合に貯金しなけ、今後の組合指導を行う旨答ればならない。との意見えましたが、特に婦人側が、出されたのは注目され、ら、「今までは出荷代金や、今後の納税組合の指導は、売上金をあてにして一ぺんこの日の意見をもとにして納入しようとするから無行うこととし、本月に各理となるので、婦人が納税地区を廻つて設立をおしす意欲を高め、生活を合理化めることになりました。

組合員 九二名
「家計簿に完納
しるすよい家庭」
小作契約はかならず届出を

農地(採草、放牧地)を宅地など他の地目とする場合は、かならず知事の許可が必要です。
もし無断で変更した場合、は、もとの形に戻さなければならぬことになっておりますから、農業委員会を通じて必要な手続きをしてください。
これは、農地保全のため、国が毎年多くの経費を支出して農地をつぶすことを防ごうと農地法で定めてあるためです。やむをえない事情で農地を他の目的に使用する場合は、たとえ自分の土地であつても必ず農業委員会事務局に問合はせてください。

寝るときは水の用意を

寝るときは必ず水をいっぱい入れたバケツを用意しましょう。
バケツ一杯の水が、幾合もの消防ポンプよりも効果あつた実例が多いのです。ポンプ百より用心一つ。

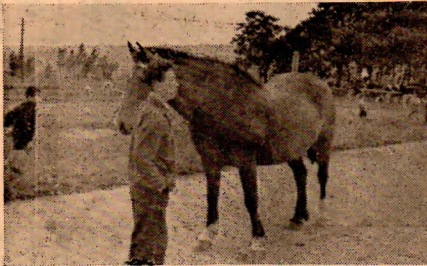
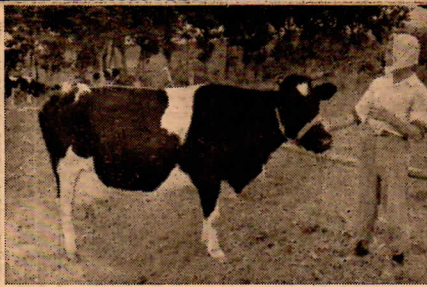
出陳家畜百三十頭

にぎやかに家畜共進会開く

第二回全町家畜共進会は、市長の講評があつたのち、閉会いたしました。八月九日湯別小学校グラウンドで開かれました。当日は開会二時間前の十一時ころから、ぞくぞくと家畜や飼養者が集り、開会のときは百余頭の家畜と飼養者、見物人で、さしも広いグラウンドも一ぱいで、来賓として後志めん羊振興会長、後志支庁畜産係長ほか多数参列のもとに、午後一時、さき後志支庁管内道賞品がたくさん贈られまし有貸付牛共助会が入賞した田原幸次さん(樽岸)に対じ賞状、賞品の伝達を行つた後、めん羊、馬、牛、の三部にわかれて、午後三時半まで審査が行われ、各審

めん羊(当才)堀さんが一等

未産牛では睦月が一等



上の写真は一等当才牛の睦月、下は四才馬一等の瑞丹

この共進会には町、農協二等のほか日めん、生産連その他の団体、各社から賞状や賞品がたくさん贈られまし有貸付牛共助会が入賞した田原幸次さん(樽岸)に対じ賞状、賞品の伝達を行つた後、めん羊、馬、牛、の三部にわかれて、午後三時半まで審査が行われ、各審

- (一、二、三才)
- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 吉田 重定 | 小田由之助 | 若林 信夫 | 福井 武吉 | 吉野 勝美 | 杉谷 久雄 | 加藤福太郎 | 市島栄太郎 | 吉川慶三郎 | (四才以上) |
| 一等 | 一等 | 一等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 一等 |
| 加藤福太郎 | 中村 キク | 居川 慶三 | 睦月 | 三河初太郎 | 若昇 | 若松善四郎 | 成田 安蔵 | 第一ヒロ | 田中虎次郎 |
| 品川 久作 | 佐藤 幸助 | | | | | | | | |



(写真は会場風景)



(写真は喜びの杉谷さん)

- (二、三才)
- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 吉田 重定 | 小田由之助 | 若林 信夫 | 福井 武吉 | 吉野 勝美 | 杉谷 久雄 | 加藤福太郎 | 市島栄太郎 | 吉川慶三郎 | (四才以上) |
| 一等 | 一等 | 一等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 一等 |
| 加藤福太郎 | 中村 キク | 居川 慶三 | 睦月 | 三河初太郎 | 若昇 | 若松善四郎 | 成田 安蔵 | 第一ヒロ | 田中虎次郎 |
| 品川 久作 | 佐藤 幸助 | | | | | | | | |

- (二、三才)
- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 吉田 重定 | 小田由之助 | 若林 信夫 | 福井 武吉 | 吉野 勝美 | 杉谷 久雄 | 加藤福太郎 | 市島栄太郎 | 吉川慶三郎 | (四才以上) |
| 一等 | 一等 | 一等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 二等 | 一等 |
| 加藤福太郎 | 中村 キク | 居川 慶三 | 睦月 | 三河初太郎 | 若昇 | 若松善四郎 | 成田 安蔵 | 第一ヒロ | 田中虎次郎 |
| 品川 久作 | 佐藤 幸助 | | | | | | | | |

第二次納税強調月間

自九月一日 至九月三十日

実施事項

- 1 長期滞納及多額滞納者に対する差押処分の執行
- 2 差押中の財産の公売
- 3 滞納金延滞加算金の強力徴収
- 4 滞納整理計画の樹立
- 5 納税貯蓄組合設立勸奨及未加入者の加入勧奨
- 6 入勧奨

杉谷さんのめん羊が一等

後志家畜共進会で

去る八月十九日後志家畜共進会が狩太町家畜市場で二才の部行われましたが、本町から一等 杉谷 久雄 能津登(めん羊六頭を出陳しました三才 市島栄太郎(〃)と四才 居川 慶三(〃)と四才 加藤福太郎(樽岸)の成績をおさめました。当四等 居川 慶三(歌乗)の成績つぎのとおり

これからの農作業

油断は禁物

イモチやウンカ

水稲

土用まで余りなわからない点は相談所
恵まれない天候へ問合せ下さい。
高湿が続いて予想外の出来盛を見ることは喜びにたえ
ません。
しかしイモチ病やウンカ
については、なお油断は禁
物です。堂に注意して病害
虫の発生を防いで下さい。
○水田の見廻りを怠らな
い、病害虫の発生を早く
みつければ防除を行うこと。
○落水期、特別の野地田
ぬかり田でない限り穂かが
み期まで水を張りましょう
特にイモチの出ている田
は落水期を遅らせること。

ピート

状況や幼虫の発
生ぐあいに注意しておく
ぬよう、DDT水和剤二〇
%（水一斗に十三匁）とか
した液をかけましょう。

馬鈴薯

収穫期も近づ
きました。本
年は雨天続きで湿気が多
かつたので薯が水分腐れて
おります。
これは早いうちに客土の

大根、白菜の根虫

は大きくならないので、大
粒な薯を残すと比較的健全
な種薯がとれます。
今年あまり良い薯をとれ
なかつた方は、出来る限り
町営の原種圃で生産される
種薯を買って新
う。

農

普及員メモ

種薯の選び方
バイラスにかかった薯



日本海マスの回遊経路

日本海のマスは
カラフトマスと
種類があり、サ
クラマスです。
カラフトマスは
五、六月頃朝鮮
の北部沖にあら
われ、沿海州ぞ
いに北上し、樺
太の亜庭湾岸を

漁

本道沖合海域にあらわれ
るカラフトマスは漁場の水
温上昇とともに、12.0℃か
ら、13.0℃ぐらいになると沖
合にて北上す
るようです。
サクラマスは
秋から冬にかけて南下し春
から初夏かけて北上する。

出荷米は早いほどよく

九月末までは四、二八八円

本年産米の予約申込をし
た米は、昭和三十三年二月
二十八日までに出荷するこ
とになっています。しかし
政府がとくに指定した期限
内に出荷したものは、前年
どおり時期別格差金が次の
とおり加算されることにな
っております。
第一期 九月三十日まで
第二期 十月十日まで
第三期 十月二十日まで
第四期 十月三十一日まで
石当り 八百円加算
石当り 六百円加算
石当り 四百円加算
石当り 二百円加算
十一月一日以降に出荷し
たり東海岸に出て北上しま
す。

乳しぼりの衛生

盛り直し（両客土）をやる
既に九月に入りましたので
堀つて腐れ薯を除き俵り盛
をする。この場合あまり天
日にあてるとニガ味が出る
のでよくない。
表皮が乾く程度に乾して
から燕麦糠で覆いをするこ
と、五、七日間位でさらに
掘けて両選別をする。

地ごしらえは全刈を

焼拂は火災に注意

今秋造林される方は地ご
しらえが出来ましたか。
地ごしらえには全刈、条
刈、坪刈があります。その
うち条刈は、薬剤等もありま
すが地勢や寒風害、雪害の
心配がない限り全刈が一番
よい方法です。
地ごしらえを丁寧にす
るか否かは造林の功程及び成
績に著しく影響しますから
経費が許されれば、条刈や

かぜに注意

「かぜ」は、「万病のもと
」といわれています。
ふだんから心がけて、よく
生活を営み、規則正し
く生活をおくりましょう。

〇あめでた

- | | |
|--------|--------|
| 壽都地区 | 加藤 陽二 |
| 吉岡 忠勝 | 今野 和信 |
| 今野 隆信 | 石黒 典史 |
| 成田 知弘 | 岩沢 好江 |
| 宮本 良二 | 小島 誘子 |
| 新庄 一博 | 中村 美津子 |
| 大川 雅子 | 盛下 誠 |
| 大越 陽子 | 宇治 幸夫 |
| 村上 笑子 | 南 英男 |
| 成田 祥子 | 安原 道丸 |
| 山本 ちよこ | 小川 抽可子 |
| 鈴木 文男 | 谷口 豊 |
| 福井 久美子 | 笠井 まさこ |
| 芳川 タセ | 田中 満 |
| 堀 徳太郎 | 堀 徳太郎 |